



気軽に集える居場所づくり

「サロンサロン」・4/1

No.5

総領自治振興区では、「サロンサロン」と称して「福祉プロジェクト“高齢者の多様な居場所づくり”」に取り組んでいます。「サロンサロン」では、家に閉じこもりがちな高齢者が気軽に集い、地域の人たちとふれあうことで、介護予防・生きがいづくりになればと、買い物、調理、会食、世代間交流などの活動を行っています。

4月には、総領自治振興センターで総領放課後子ども教室の新1年生4人の入会を祝う会を開催し、利用者12人と児童17人が会食などの交流を行いました。

総領自治振興区の矢吹正直事務局長は「こうした活動によりお互いに充実した時間が過ごせていいと思う。これからはいろいろな企画をしたい」と話していました。



▲将棋で世代間交流

高野の特産りんごを満喫

たかの体験高野グリーンウォーク春・4/30

No.4

高野の特産品であるりんごの花が満開を迎え、淡いピンクや白に染まったかれんなりんごの花の魅力を知ってもらおうと、下高自治振興区が「たかの体験 高野グリーンウォーク春『りんごのお花見』」を開催しました。

当日は、市内外から定員を超える25人が参加しました。参加者はりんご農園を営む田中喜基さんの案内に耳を傾けながら、下門田地区のアップルロードを散策した後、満開のりんごの木の下、高野りんごのアップルパイ、パウンドケーキなどのスイーツを味わいました。

廿日市市から参加した高橋朋子さんは「高野りんごを目で見て、食べて味わい満喫できた。秋には真っ赤に染まったりんごを見に高野を訪れたい」と話していました。



▲園主の田中さんの解説を聞く参加者

和棉づくりで地域の活性化

綿から糸へ体験ツアー春・5/8

No.1

庄原市東自治振興区と広島市に本社をおきオーガニックコットン（※）製品などを取り扱う株式会社マールの共催で、「綿から糸へ体験ツアー春」が庄原市東自治振興センターで行われました。昨年より自治振興区で取り組んでいる和棉づくり。本年は、広島市内からの体験ツアーを企画し、親子連れ22人が参加しました。

午前中、自治振興区の皆さんなどのサポートによりワタの種まきをし、昼は地元でとれた山菜のてんぷらや鯉のから揚げ、鯉こくなどが振る舞われました。午後は、和棉の栽培から機織りまですべてを行う天野カツミさん（西本町）の講話と体験コーナーがあり、参加者は「綿繰り機」や「糸車」を操作しました。最後にワタを使ったクラフト作りを行い、盛りだくさんの1日でした。

参加者は「1日でいろいろ体験できて楽しかった。また庄原に来たい」と話していました。また区長の東泰治さんは「体験ツアーは今回初の試み。地域活性化のため、今後も続けていきたい」と話していました。※オーガニックコットン…無農薬有機栽培で育てたワタのこと。



▲力を込めて種をまくための穴をあける



▲綿繰り機を使うとワタに包まれた種の取り分けが簡単にできた



▲昼食の時間には里山ならではの手作り料理が振る舞われた

おいしいさ楽しさがいっぱい

モーモー物産館春の感謝祭・5/1

No.7

モーモー物産館で、春の感謝祭が開催されました。当日は晴天にも恵まれ、中国横断自動車道尾道松江線の口和インターチェンジから降りてすぐの場所ということもあり、大勢の人でにぎわっていました。

会場では口和備神太鼓などの団体によるステージイベントが行われたほか、比婆牛串焼き、新鮮野菜、手打ちそばなどが出店されほとんど完売しました。

モーモー物産館の三吉龍次さんは「インターチェンジができたおかげで大勢の人に口和に来て楽しんでもらった。今後もこの施設が口和の活性化に役立てば」と話していました。



▲口和備神太鼓が会場に鳴り響く

おくまのさん

熊野神社春季大祭・4/29

No.6

熊野神社の春季大祭、通称「おくまのさん」が、西城町熊野の熊野神社を中心に行われました。

この春季大祭は古事記にも由来するもので、「ちりげ」と呼ばれる子どものかんの虫（かんしゃくのこ）を封じる「ちりげ封じ」の祈願が行われることでも知られています。

当日は、ゴギ（中国山地の溪流に生息するイワナの一類）の塩焼きなど地元特産品のパザーも並び、西城川太鼓の演奏、西城町神楽愛好会による神楽、福餅まきなどの催しも行われ、多くの人でにぎわいました。



▲熊野神社の鳥居の下で特産品がならぶ

観光客でにぎわう神龍湖

帝釈峡湖水開き・4/29

No.3

新緑に彩られた国定公園帝釈峡「神龍湖」で「第49回帝釈峡湖水開き」が行われました。

帝釈峡の安全と繁栄を祈願する神事が行われた後、「トレイルセンターしんりゅう湖」前広場では地元「鬼神太鼓」の演奏や神楽の演舞などがあり、会場テントでは地元食材を使った神石高原マルシェで軽食を楽しむ観光客でにぎわいました。

また、新緑と石灰岩の岩肌が織り出す帝釈峡の雄大な自然景観のもと、湖面ではたくさんの方が遊覧船を満喫していました。



▲湖面を走る「さくら号」

登山者の安全を祈願

福田頭山開き・4/24

No.2

比和町三河内で、福田頭山開き実行委員会主催による「第6回福田頭山開き」が行われました。福田頭は広島百名山の一つであり、ブナ純林や見応えのある滝が有名で、毎年多くの登山客が訪れています。

当日は関係者を含め県内外から約20人が参加し、比和総合運動公園で登山シーズンの安全を祈願する神事式が行われました。

地元の人には「三の滝の風景や山頂からの眺めは絶景なので、ぜひ多くの人に訪れてもらいたい」と話していました。



▲神事式で安全祈願